

登録コード	HM800100	開講年度	2026				
授業題目	生命倫理・研究倫理特論					担当教員	古庄 知己 他
英文授業名	Advanced Methods in Bioethics and Research Integrity					副担当	福岡 義光・中込 さと子・樋笠 知恵・片上 幸美・山浦 麻貴
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室	旭総合講義室A B		授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	(授業の達成目標)	
	2026HM保健学分野初, 2026HM医学分野初, 2025HM保健学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM保健学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM保健学分野初, 2023HM医学分野初						
	【研究科共通・2024年度以前かつu18対象】高度専門職業人・研究者として、科学・技術を発展させるための健全な倫理観				⇔	医療系研究者にとって責任ある研究行為とはどのようなものか、その基本的な理念は何かを理解し、説明できるようになる。	
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初				⇔	責任ある研究行為に基づいて研究を実施し、学習する上での基本的な行動規範を実践できるようになる。	
(2)詳細/Detailed information	先端医療技術を臨床の場で応用する際はもちろん、先端科学を研究する際にも高い倫理観が求められる。近年、医療に関するさまざまな新しい技術が臨床の場に導入されようとしているが、従来にはなかった種々の問題が提起されている。また、研究者として責任を持った適切な振る舞いも求められている。これらの問題をどのように解決したらよいかという考え方の道筋を示すものが各種の倫理であり、その重要性について事例を通して学ぶ。						
(3)授業の概要/Overview of course	研究者倫理（研究公正）に関する基礎知識を修得するとともに、信州大学が中心となってその基盤を構築・推進した研究者倫理eラーニングプログラム「eAPRIN」により、研究者・医療者としてのあるべき倫理的行為について理解を深める。 集中講義では、研究者倫理分野における我が国第一線の講師による講義に加え、特定のテーマごとにグループワークを行うことにより、eラーニング等で修得した知識及び倫理観を深化させる。						
(4)授業計画/Course plan	6/29（月）6～7時限 オンライン 中込さと子先生:生命倫理学概論(6時限 18:00～19:30) 福岡義光先生:ゲノム時代の生命倫理(7時限 19:40～21:10) 7/4（土）【生命倫理特別授業】オンライン 1・2限(9:00~12:10) スモールグループディスカッション（研究倫理）（樋笠先生・片上先生/福岡先生） 3・5限(13:30~17:00) 特別授業「研究倫理・研究公正の現状とこれから」（市川先生/山浦先生/樋笠先生/片上先生/福岡先生） 接続情報等の詳細については、メールおよびeALPSを通して連絡する。 上記の他に APRIN e-ラーニングプログラム(eAPRIN)を【7月3日(金)】までに必ず修了すること。 e-ラーニングでの学習が授業の所定回数に相当する。詳細については、メールおよびeALPSを通して連絡する。						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	すべての授業に出席することを求める。その上で、課題に沿ったレポート提出すること。 eラーニング（eAPRIN）の受講（修了）：50点 グループワークでの議論・レポート：50点 - 成績評価の基準 eAPRINは単元ごとに確認テストを受講し、全単元において80%以上の正答をすることで修了要件を満たす。 グループワークでは、講義・eラーニングを通じて得た知識や議論を用いて、与えられた課題に対して自身の見解を提示し、グループメンバーと有意義な意見交換を行うことを求める。 最終的な成績は、上記の評価方法の総合点によって評定する。 - 合格水準にある（69点～60点）：研究者倫理に関わる基本問題を説明し、課題に対する既存の見解が提示されている - やや上にある（79点～70点）：研究者倫理に関わる応用課題を指摘し、課題に対する既存の見解が提示されている - かなり上にある（80点以上）：研究者倫理に関わる応用課題を指摘し、課題に対する既存の見解に加え、自身の見解が適切に示されている - 卓越している：「かなり上にある」のうち、示された内容が教員を感心させるレベルにあるもの						

(6)履修上の注意 ・事前事後学習 の内容・テキスト・教材・参考 書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/ Reference work(s)	APRIN e-ラーニングプログラム履修については、指定の期限【7月4日(金)】までに必ず修了すること。 教材の受講内容に関して、アンケートによるフィードバックを依頼する可能性がある。 履修方法・アンケートの回答依頼については、適宜、メールで連絡する。 講義室は、授業日、授業時間によって異なるので注意すること。 また、講義・グループワークが遠隔での実施となった場合の進め方については、適宜メールにて連絡を行う。
(7)質問,相談への 対応/Questions and requests for advice	担当教員等がメールにて受け付ける。 古庄知己：ktomoki[at]shinshu-u.ac.jp 福嶋義光：yfukush[at]shinshu-u.ac.jp 中込さと子：snakagomi[at]shinshu-u.ac.jp 樋笠知恵：hikasa[at]shinshu-u.ac.jp 片上幸美：katagami_y[at]shinshu-u.ac.jp 山浦麻貴：myamaura[at]shinshu-u.ac.jp
(8)授業の形式 /Course format	講義，eラーニング，グループワークを含む。